

灯台の見える二つの登山道

泉州労山・大西清見

<日程> (マイカーにて) 3月27(火) 大阪一名神・北陸道三条燕 IC-新潟県燕市・国上道の駅(泊) / 28日(水) 道の駅一角田山浜…角田山…角田山浜-石川県門前町皆月・民宿(泊) / 29日(木) 門前町皆月-猿山灯台…猿山…猿山灯台-帰阪

<参加者>大西清見・青木真澄・大西博美

灯台の見える登山道の美しい風景に、また雪割草に会いたくて新潟と能登に行ってきました。新潟は角田山(482m)で一昨年に、能登は猿山(332m)で昨年に登ってきました。この二つの山は、灯台の見える登山道がある山で、3月下旬になりと雪割草の群落が私たちを迎えてくれます。人は四季折々の美しい風景に出会うと、また何度も行ってみたくなるのでしょう。今年もこの雪割草に会いたくて角田山と猿山に行ってきました。

角田山は7コースの登山道があり、一番花が楽しめるのは、ガイドマップに紹介されていない北西尾根コースです。地元の登山者はこのことをよく知っており、いつも角田浜の駐車場はマイカーでいっぱいとなります。この北西尾根コースの取りつきから、いきなりオオミスミソウの群落となりますが、今年はまだ五分咲きでした。しかし、尾根中腹辺りからはあらゆる山の斜面いっぱいにカタクリが咲き誇っていました。カタクリがオオミスミソウに先行して咲くのは初めてだそうで、これも異常気象(2月の豪雪、3月の超温暖化)による異変でしょうか。山頂直下のキクザキイチゲの群生にも圧倒されます。花は白が多く早春を告げているようですが、青紫色も登山者を引き付けてくれます。(歩行時間:約5時間)



カタクリの群生…



角田山の灯台コース、青い空に海、快適!

猿山は能登半島の北西端、日本海に落ちる200mの断崖に位置しています。昨夏、東北行のフェリーからも一目で確認できた山塊です。ここも灯台の見える登山道で、雪割草の群生地として人気があります。日本海を渡ってくる季節風と対馬海流の影響が、特異な植物生態系をつくりだしているようです。猿山は標高差約150mの緩やかなコースで、至るところでオオミスミソウの可憐な花が楽しめます。その群落は日本一と言われ、花色は白が多く、桃、紅の順で見られました。猿岬灯台から登る、この猿山も何度も訪れてみたい山となりました。(歩行時間:約3時間)